

ちよだ 区議会 だより



No. 243

令和元年8月14日

編集：区議会だより編集委員会

発行：千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南 1-2-1

☎ 03-5211-4297 (直通)

ファクシミリ 03-3288-5920

第2回 定例区議会



一般社団法人 千代田区観光協会 第2回東京大回廊写真コンテスト 魅力発見発掘賞「今年も一緒に」中野 宏紀

トップニュース

Top News

令和元年度千代田区一般会計補正予算第1号を可決

■「千代田区プレミアム付商品券事業」及び「過誤納還付金」として、補正前の額、604億8,193万4千円に2億3,014万8千円の予算額が追加されました。また、「千代田区プレミアム付商品券事業」に係る令和2年度までの債務負担行為として、限度額3,009万9千円が追加されました。

児童虐待防止対策の強化を求める意見書を可決

■児童虐待防止対策強化のための児童福祉法等改正案が成立したことを踏まえ、国に具体的な取り組みを強く求める意見書を、全会一致で可決しました。(詳細はP8をご覧ください。)

難聴者の補聴器購入に対する助成を求める意見書を可決

■聴覚に障害がある方の生活の質の向上のために、十分な機能を備えた補聴器を購入できるよう、助成額の引き上げを国に求める意見書を、全会一致で可決しました。(詳細はP8をご覧ください。)

主な内容

- 代表質問等 2～3面
- 一般質問 4～5面
- 定例区議会活動報告 6～7面
- 今定例会で可決した意見書等 8～9面
- 議案の審議結果等 10面

提案された議案等

◆区長提出議案

- ・予算 1件
- ・条例 6件
- ・契約 2件
- ・指定管理者の指定 1件

- ・人事 1件
- ・報告 5件

◆委員会提出議案

- ・意見書 2件



●ホームページアドレス

<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

●公式 Twitter

@Chiyoda_Kugikai (千代田区議会)

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。また、音声(CD)版、点字版も作成しています。区内在住ご希望の方は、区議会事務局 ☎5211-4297(直通)までご連絡ください。

*区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。

令和元年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田区議会 自由民主党

はやお 恭一

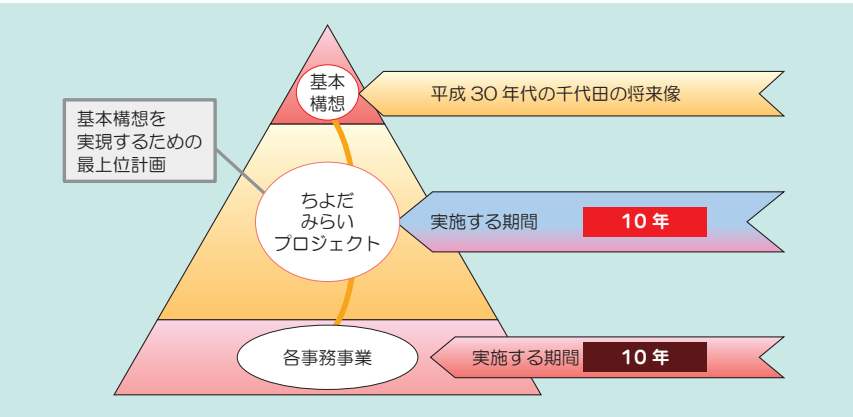
日本共産党区議団

木村 正明

ちよだみらいプロジェクト見直しと財政見直しについて

問 2015年から10カ年にわたる基本計画「ちよだみらいプロジェクト」では、策定時の推計を超える人口増、施設整備計画の遅延、計画と異なる取り組みの実施等、当初計画とズレが生じている。また子どもや高齢者等の多額の予算確保が必要な世代の人口が増加する一方、基金の活用は滞っている。基本計画の中間見直しとなる今年、社会情勢の変化を踏まえ新たな人口推計を用いる可能性と見直しの方向性は。また次年度の予算編成にて複数年予算を示す意義と今後の財政見直しは。

答 現段階では基本計画を含め人口推計や施策の方向性を変更する状況にはないと考える。複数年予算は、将来にわたり安定した行政サービスを提供するため、中長期的な財政見直しとして示した。今後は多額な財政負担が生じる施設整備計画の進捗等を見極め、総合的な視点で財政運営を行う。



まちづくりと駐車場施策について

問 本区は約9割の世帯が集合住宅に居住。既存のマンション等では駐車場の需要低下に伴う稼働率低下と維持管理費の負担、駐車場の余剰が課題。国の都市再生駐車施設配置計画制度の活用等、地域の実情に応じた駐車施設の整備を。

答 まちみらい千代田との連携の下、駐車場条例の付置義務緩和認定基準の円滑な活用に向け相談体制を整え、アドバイザー派遣等の支援を図る。神田地域からモデル地区を選定し、都市再生駐車施設配置計画策定に向け取り組みを進める。

障害児保育の課題と新設保育園併設の必要性

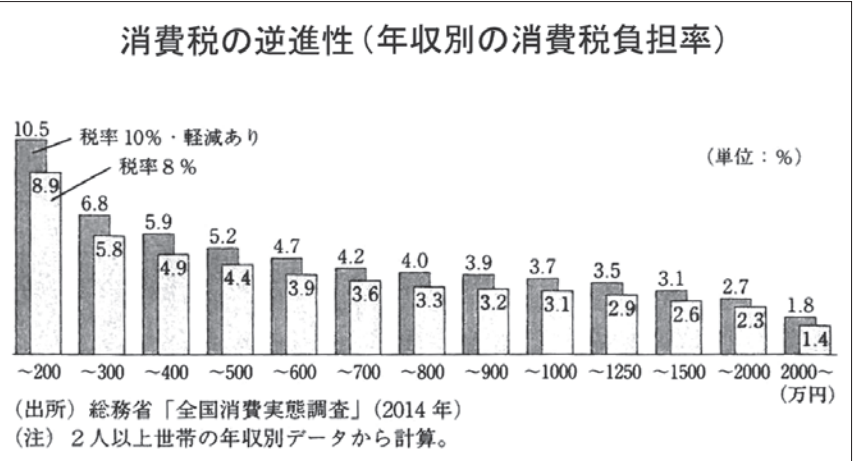
問 障害福祉プランの具体的な施策展開の明確化、障害児を養育する保護者への就労支援として、今後新設する保育所への障害児保育室の併設の検討を。

答 障害者手帳等を所持する全世帯に調査を実施し、来年度障害福祉プランの改定に反映。障害児保育室は、実態把握と保護者ニーズを踏まえ、障害福祉計画の改定時に検討する。

消費税について区長の見解を問う

問 区長は前回の定例会で、あらゆる階層の方が公平に負担をするため消費税の意味はあると答弁した。家計を直撃し、低所得層ほど重い負担が掛かり、税制のゆがみを拡大する消費税が、「公平・公正」という認識に変化はないのか。

答 国の社会保障制度を安定的・持続的に運営するためには国民への一定の負担を求めることは避けて通れない。消費税は、現役も高齢者も含めてあらゆる階層から広く負担を求めるものという認識である。



まちづくりのあり方を問う

問 ①人口や資本の集積、地下街、ビル等が災害を拡大させる素因となる。災害に強いまちづくりとして、「ヒト・モノ・カネ」の都心への集中の是正に踏み出すべき②区民ニーズの強い中低所得世帯向け借上型公共住宅を供給しない区の方針は、全ての区民が尊重され人間性豊かな地域社会を築くことを謳った住宅基本条例に反する。撤回を。

答 ①一自治体で対応できるものではなく、国の施策展開により解決される課題であると認識②区で管理する公共住宅の整備状況は23区の中でも際立って高く、区営住宅は供給戸数水準を今後も維持し、計画的に建て替える予定。よって、条例には反していないと考えている。

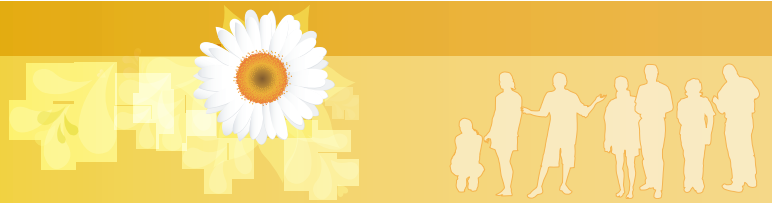
国保料の引き下げに向けて

問 2年連続、国保料は引き下げられたが、高すぎる国保料という実態は変わっていない。さらなる引き下げのために、加入者全てに負担させている均等割の廃止や減免の実現を。

答 国保の賦課方式は被保険者の相互扶助の観点から、法令により均等割を含めることが必須条件としている。制度設計者である国が制度改善を進めるべきものと認識。今後も国に対して軽減措置等の検討を要望していく。

令和元年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団



米田 かずや

通学や散歩ルート等の安全確保を

問 ①事故から子どもを守るため、通学・散歩ルートの総点検や、関係機関や保護者等との連携強化、情報交換等を行うべき。ガードレールや、園児らの活動区域を知らせるキッズゾーン等を設置すべき②安全対策には子どもの視野を体験できる眼鏡、チャイルドビジョン等を活用し、子どもの目線や行動特性を踏まえるべき。

答 ①安全対策の再確認に加え、緊急対策として区立、私立園の各施設長が集まり、散歩ルート等の危険箇所の抽出と情報共有を行っている。危険箇所は現地調査実施の上、警察や道路管理者と連携し、ガードレール等の設置により改善に努める。キッズゾーンは国の検討状況を踏まえ設置を検討する②保護者会や保育士の研修等でチャイルドビジョンを活用し、子どもの視界の狭さ等の再認識に努めている。

公共住宅等の修繕負担区分の見直しを

問 国は民法改正に伴い賃貸住宅標準契約書を改定し、UR賃貸住宅で今まで居住者の負担であった畳表や障子紙等の修繕が無くなった。この改定を受け都営住宅でも9月から負担項目を34から11に減らす。本区の区営、区民住宅も見直すべき。

答 見直しの必要性を十分に認識している。都の見直しの動向を注視し、居住者の意見や要望を踏まえ検討する。

災害派遣トイレトレーラーの導入を

問 災害時のトイレ不足や衛生問題は重大である。対策には有事だけでなくイベントや子どもの遊び場等でも活用でき、他自治体にも派遣可能なトイレトレーラーの導入が有効である。富士市他2自治体が既に導入し、倉敷市でも導入を決定、約300の自治体が導入を検討中である。区でも導入を。

答 利点を認識する一方、購入及び維持管理費用や平時の保管場所・活用方法等の課題もある。今後、情報収集や課題検証を進め、試行的に導入することを含め検討する。



■ 本会議・委員会を傍聴してみませんか

傍聴は、どなたでもできます。議会活動に触れる身近な機会ですので、ぜひお越しください。

ご希望の方は、区議会ホームページ等で区議会、委員会の日程をご確認の上、当日、庁舎8階議場傍聴席、委員会室へお越しください。

なお、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット端末等の電子機器をお持ちの方は必ず電源をお切りください。

<本会議場での傍聴について>

○傍聴席の入り口は千代田区役所8階にあります。座席数は66席です。車いすのスペースは3席分ございます。

○音声が聞こえにくい方のための専用受信機の用意がありますので、事前に区議会事務局まで、お申し出ください。

問い合わせ 区議会事務局 ☎03-5211-4297



令和元年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

内田 直之

(自民)



千代田区におけるSDGsへの取り組み

問 SDGs (持続可能な開発目標) とは、国連で採択された国際社会共通の目標。国際的な枠組みとして掲げられ、持続可能な地域社会の実現等のツールとして大変有効と考える。見解は。

答 本区が目指す共生社会の実現と同じ方向性。SDGsそのものを大きな方針として本区の基本構想等を作り直すことは、現段階では考えていない。

千代田区のヒートアイランド対策

問 暑熱対策や熱中症対策は、区民の生命と生活を守る喫緊の課題。記録的猛暑を「災害」と位置づけ、災害対策と施策目標を設定すべき。

答 猛暑は災害と同じと考えている。災害対策事業計画に猛暑を盛り込むことについては、他自治体を参考にしつつ検討していく。

河合 良郎

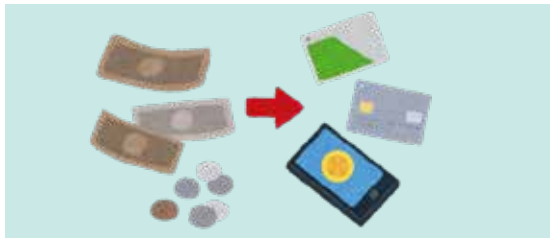
(自民)



キャッシュレス決済について

問 国内のキャッシュレス決済額が飛躍的に増加している①今後の区の方角性は②キャッシュレス端末設置費用等、推進に向けた支援制度の実施を③国はマイナンバーカードに商店街で利用可能な自治体ポイントを付与する等のキャッシュレス事業を開始。区の考えは。

答 ①キャッシュレス技術の進歩や普及等を見据え取り組む②国の補助制度の効果と終了後の影響も含め、中小事業者等への普及状況を踏まえて施策を検討していく③国の動きを注視するとともに、引き続き情報収集に努め、実施の可否について検討していく。



永田 壮一

(自民)



定年延長について

問 ①シニア世代の人材活用のため、希望すれば年齢に関係無く働ける環境作りを求める②政府の70歳定年延長方針に対する見解と対応は。

答 ①シルバー人材センターの活用をさらに支援していく②高齢者の人材活用の必要性は認識している。国や他自治体の動向を注視し、適切に対応する。

雑踏事故対策について

問 ①東京2020大会会場付近の混雑対策は②雑踏事故の原因となる歩道橋は撤去を検討すべき。

答 ①歩行ルートを一方通行化し、入退場ルートを分離する②歩道橋はイベント時に歩行者殺到による事故も懸念される。撤去については実態や車両通行等を考慮し、引き続き検討していく。

小枝 すみ子

(声)



区政懇談の場で多様な意見の傾聴を

問 地域の悩みが区政に伝わらず、区の計画も地域で共有されていない。町会、障害者、企業等多様な方が気軽に交流できる懇談の場を地域別に設置し、課題を十分に協議できるようにすべき。

答 多様な立場の方が議論する活動等を今後も支援し、課題解決に取り組む。

新人職員研修・専門職の人事交流

問 区の歴史や魅力に詳しいOB職員による新人職員研修を開催してみては。

答 新人職員がまちに出て住民の意見を聞き、問題意識を持って今後の区政を担っていけるよう研修を進めていく。



嶋崎 秀彦

(自民)



都市型水害発生時の対応について

問 近年、日本各地で豪雨による水害が発生している。区の降雨情報等の収集方法や庁内での情報共有、区民への周知方法について問う。

答 気象庁から情報を入手し、さらに民間事業者に分析依頼。河川に水位計等を設置し常時監視を実施。庁内情報共有は、災害対策本部会議等を設置し、庁内各課と情報共有するとともに、区民・事業所等への情報の提供を行っている。

地域コミュニティの重要性について

問 近年、地域コミュニティが希薄になったといわれている。防災訓練には住民、事業所等が参加しコミュニティの活性化につながっている。さらに多様な立場の方の参加を呼びかけるべき。

答 今後も引き続き参加を呼び掛ける。

長谷川 みえこ

(紡ぐ会)



幼児・児童への人権教育を

問 子どもへの虐待事件が続いている。区立保育園・こども園では暴力から自分の心とからだを守る教育としてCAP (Child Assault Prevention) プログラムを実施。私立園等にも拡充を。

答 各校園で子どもの実態に合わせた人権教育等を実施しながら、同プログラムの趣旨を取り入れることを検討する。

チャレンジ雇用で就労支援を

問 障害者の就労定着には、自治体のように丁寧なサポートが受けられる環境で1～3年程度の経験を積み、企業就労にステップアップするチャレンジ雇用が有効。障害者の就労定着支援のため、区で導入すべき。

答 職場環境や支援体制の課題を整理し、実施に向けた検討を行う。

令和元年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

池田 ともり (自民)



交通施策について

問 ①放置自転車対策として、区有地や低・未利用地、私有地等を活用する自転車駐車場のシェアサービスの導入を②コミュニティサイクルの自転車再配置の効率化や保守が可能な総合案内所の設置を③歩行者の安全に配慮し、快適な自転車走行空間の整備に取り組むべき④東京2020大会の気運醸成に、風ぐるまの中づり広告等を活用した周知を⑤東京2020大会期間中の交通規制や渋滞対策における区の対応は。

答 ①既に実施している他自治体の状況を調査し、導入を検討する②再配置の時間短縮やバッテリー充電等が可能な拠点施設の設置を検討する③人と自転車と車が安全に通行できる、道路環境の整備を推進していく④実施を検討する⑤区民生活への影響を最小限にするための対策を進める。

飯島 和子 (共産)



「ひきこもり」の相談・支援の体制

問 ひきこもりの長期・高齢化が問題となっている。当事者の声を聞き、相談・支援体制を整え、取り組み強化を。

答 保健所や障害者よろず相談モフカ等様々な窓口でひきこもり家族からの相談に対応しているが、引き続き相談・支援機関の連携を強化し、全体的に支援する体制を検討する。

補聴器助成額の引き上げ

問 障害者手帳のない方の補聴器購入費助成上限額が25,000円では低いので、引き上げを。

※他に「精密検査費用助成」を求めた。

答 聴覚障害者のための補装具基準額を超えない範囲で助成額を設定しており、上限額の変更は難しいが、国や他自治体の動向に注意し、研究する。

西岡 めぐみ (自民)



東郷元帥記念公園の整備

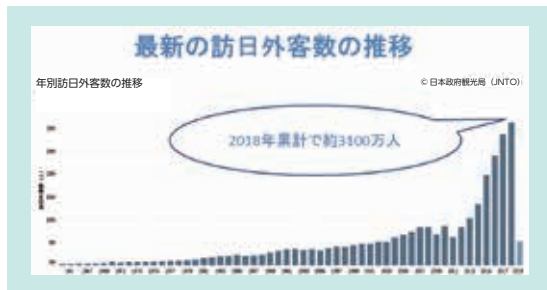
問 遊具や舗装材等に利用者の意見や子どもの視点を取り入れるべき。

答 九段小学校・幼稚園代表やPTA等による協議会で引き続き検討する。

ライトアップ・インバウンド対応

問 ①ライトアップ事業は夜間の景観向上や経済効果が期待できる。東京2020大会に向けた対応を②訪日旅行者の傾向を把握し、ニーズに合わせた対応を。

答 ①橋梁等のライトアップを関係機関と連携して進める②データを分析し効果的なインバウンド対策を検討する。



牛尾 こうじろう (共産)



子どもが遊べる公園の増設を

問 期間や曜日を限定しない遊び場や公園が必要。区の認識と整備計画への見解は。

答 体を使い外で遊ぶ機会を増やすことは子どもにとって必要なことと認識。今後も利用者の声に耳を傾け、遊び場として適していれば、暫定的であっても活用をしていく。

保育園散歩ルートの安全点検を

問 全保育施設を対象とした危険箇所についての調査結果と今後の対策は。

答 現地調査を行い、写真と地図による危険箇所の可視化を図った。今後、警察等の協力を求め、ガードレール等の設置で危険箇所の改善を予定。また、園児の外出時の見守り強化のための人員強化等、総合的な安全対策を検討。

岩佐 りょう子 (立憲)



公益通報制度の活用について

問 内部公益通報は区の法令違反等を未然に防ぐため、16年前に制定。現在、行政の業務や雇用形態は多様化している。相談範囲を限定せずに受け付ける体制の整備が必要では。

答 通報範囲は犯罪行為に加え、生活環境を害するもの、事務事業にかかる不当な事実等がある。これは大幅に範囲を拡大しており、現時点ではさらに拡充する考えはない。

幼児教育・保育無償化と質の担保

問 無償化を機に新規事業者の参入が想定される中、認可外保育施設の質の低下が懸念される。また、指導監督基準の存在しないベビーシッターの質の担保について区の見解を問う。

答 保育従事者の資格や研修受講等、新たな基準の創設が必要と認識。

岩田 かずひと (立民)



まちの活性化について

問 麹町では麹等を製造した地下室が発掘されており、まちの活性化に麹を使用した食品等の商品化を提案する。

答 千代田区商工業連合会では、地域ブランド創出に力を入れている。今後も関係各団体との連携も視野に入れ、努めていく。

学校のいじめ問題について

問 ①いじめ防止基本方針に基づく区のいじめ対策は②いじめアンケート実施の有無③いじめ発生時の保護者への対応④第三者委員会設置の有無。

答 ①②未然防止を第一に授業でいじめは許されない行為だと教え、早期発見に向け年3回のアンケートを実施している。聞き取り等、丁寧な対応を図る③文書による説明や緊急保護者会を開催④重大な被害発生の疑いがある場合に設置。

令和元年第2回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案10件(予算1件、条例6件、契約2件、指定管理者の指定1件)を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審査結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「特別区道千第262号(大神宮通り)電線類地中化事業の施行に伴う引込管路工事等委託協定の締結について」は、電線類地中化事業の施行に伴う引込管路工事等を内容とする委託協定を締結するため、議会の議決に付すものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、電線類地中化にあたっては、高圧電源を低圧電源に変換するためのトランスを地上部に設置する必要があるが、当該道路は歩行者空間確保の観点から地上器を置けない幅員であるため、街路灯の上部にトランスを設置するソフト地中化方式を地元の協議会に提案し、採用することとなったこと。

あらゆる道路工事が重ならないよう、道路工事調整会議によって調整しており、また、道路交通管理者のほうでも安全帯を確保し、近接で工事を同時に行うことのないよう調整していること。

電線類地中化事業は、前段階の支障移設という工事から始まって、長い年月がかかり、沿道の方々にとっては非常に大きな負担となるため、今後も丁寧に説明をし、安全・安心な工事を行っていききたいと区が考えていること等が明らかになりました。

「災害対策用備蓄物資(水)の購入について」は、災害対策用の備蓄物資としてミネラルウォーターの購入に関する契約を締結するため、議会の議決に付すものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、賞味期限が近づいた水については、区内の防災イベント等で活用しており、廃棄処理は行っていないこと。平成30年度から水、食料、その他と分けた形で入札を実施した結果、さまざまな業者が参加できるようになって単価が下がったが、今後も契約制度の改善等に努めていききたいと区が考えていること。

区内事業者の受注機会確保について、よりよい方法を今後とも考えていききたいと区が考えていること。

備蓄物資となる防災関連商品についても新製品が出てきており、その導入可否については、区民の声を聞きながら、安全性を考慮して検討・研究していききたいと区が考えていること等が明らかになりました。

地域文教委員会

議案6件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「令和元年度千代田区一般会計補正予算第1号」は、千代田区プレミアム付商品券事業の実施等に伴い追加の予算を計上するものです。また、「千代田区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例」ほか3議案は、子ども・子育て支援法施行令の一部改正に伴い規定を整備するものです。

〈審査経過〉

プレミアム付商品券事業の対象は、生活保護受給者等を除く住民税非課税世帯及び平成28年4月2日から令和元年9月30日までの間に生まれた子(0歳から3歳半)が属する世帯であり、区内46郵便局のみで販売すること、23区とも全て同じ方法で実施すること等が明らかになりました。

幼保無償化については、無償化による保育ニーズ増より人口増による影響の方が大きいこと、待機児童を出さないよう認可保育園の誘致に努めること、待機児童数には入らないが特定園留保を含め、希望する園に入れない人数を区ホームページ等で公表していることなどが明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

プレミアム付商品券事業は、消費税10%増税後の反動減対策であり、税負担が続くことには変わりがない。またプレミアム分より事務費の方が高く、区民からは税金の無駄遣いと見える。消費税を増税しないのが一番であり、反対する。(牛尾)

幼保無償化の財源は、消費税の引き上げではなく、国が責任を持って出すべきである。住民税非課税世帯については、区では既に保育料を免除しており、無償化による恩恵はない。待機児童問題の不安を広げる要因にもなるため、議案第34号から第37号までの4議案に反対する。(牛尾)

【賛成の意見】

5,000円のプレミアムは、低所得者、子育て世帯にとって大きな生活の支えになり、区内の各店舗でも消費の落ち込み緩和の効果が期待できる。全額国の負担だが、公金の支出であり可能な限り無駄の削減を求め、賛成する。(池田)

幼保無償化の最大の目的は、少子化対策として、子育て世帯の経済的負担の軽減にある。所得に関わらず3歳から5歳の全ての子どもたちの幼稚園、保育園等の保育料が無償化され、大変有意義である。区独自の施策である保育園の食材料費無償化についても高く評価し、賛成する。(たかざわ)

令和元年第2回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



保健福祉委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例」は、災害援護資金の貸付利率を改め、その償還方法として月賦償還を追加するとともに、貸付けに当たっての保証人の必置義務を廃止するものです。公布の日から施行し、令和元年6月5日以後に生じた災害により被害を受けた世帯の世帯主に対する貸付けから適用します。

〈審査経過〉

区では、過去に災害援護資金を貸し付けた実績はないこと。今回の条例改正は、法改正等で示された区市町村の裁量の範囲内で被災者に対する支援と債権管理の両立を図るものであること。違約金については、従前の10.75%から5%に改正されたが、各自治体の裁量はなく法定利率であること。区民への周知に努め、大規模災害があったときには区民が使いやすい制度とすること。貸し付けた実績がある他自治体の償還状況から、債権管理に関するルールや管理体制を整える必要があること等が明らかになりました。

「千代田区立障害者福祉センターの指定管理者の指定について」は、平成21年4月から指定管理者制度を導入し、社会福祉法人武蔵野会に施設の管理運営を委ねている障害者福祉センターが、令和元年度末に指定期間が終了するため、令和2年度からの指定に向け、議会の議決を得るものです。

選定事業者は社会福祉法人武蔵野会。指定期間は令和2年4月1日から令和12年3月31日までの10年間です。

〈審査経過〉

選定にかかる評価においては、法人の財政基盤について健全性と安定性を確認できたこと。提案内容は具体的であり、かつ利用者や地域の福祉の推進に寄与する新たな取り組みも提案されたこと。委員の評価による総合点及び全ての評価区分ごとの点数において、基準点を上回ったこと。さらに人員体制について前倒しで対応を進めていることや、施設スペースは各種の工夫をし、改修工事の実施とともに、事務的なスペースを施設外で確保すること等が明らかになりました。

その他「二番町国有地の介護施設整備について」「いきいきプラザ一番町の大規模改修について」「旧千代田保健所敷地の福祉施設整備について」等の報告がありました。



特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

区推進プロジェクトの追加事業として、民泊事業の適正化、ちよだ安心トイレの推進等が報告されました。ちよだ安心トイレは民間事業者が所有・管理する施設内のトイレを来街者等も利用できるように開放されたトイレで、今後、区のHP等で情報提供されます。また、パラリンピックの気運醸成や障害者への理解を深めることを目的とした障害者スポーツの取組みが報告され、今後予定される一年前イベントや区民体育大会で関連事業が実施されるということです。

景観・まちづくり特別委員会

社会情勢等の変化を背景とした都市計画マスタープラン、駐車場整備計画及び緑の基本計画の改定並びに景観まちづくり計画の策定について、公聴会等の手順・手続を踏まえた意見聴取のスケジュール等を確認し、これらの計画に区議会の意見を反映できるよう、精力的に調査していくこととしました。また、地域別まちづくりの動向についても、今後詳細に調査することとしました。

災害時要配慮者等対策特別委員会

要配慮者と避難行動要支援者の定義や、災害時の情報収集・安否確認、福祉避難所開設の流れ等を確認しました。また、要支援者名簿の取り扱い（活用・個人情報保護）や、要支援者・関係者向けのマニュアル作成について議論をし、今後、福祉避難所のあり方や事例研究、課題整理等についても、全庁的に議論を進めていくこととしました。

文化財保存・活用特別委員会

区指定文化財台帳の整備、約4万点に及ぶ収蔵品の整理、学芸員など専門的知見を有する人員の確保、区内文化財総合調査の実施など、区の文化財保護行政の現状と見直しについて説明があり、現状では管理が十分でないこと、今後、現場に関わる職員の要望等を踏まえながら、貴重な文化財を適切に保存・活用していくよう改善策を講じていく方針であることが明らかになりました。また、文化財の保管状況について、現地調査を行うことを確認しました。



今定例会で可決した意見書

1. 児童虐待防止対策の強化を求める意見書

昨今、全国的に児童虐待相談件数が急増しており、昨年3月には目黒区、今年1月には野田市で虐待による死亡事件が発生しています。学校、教育委員会、児童相談所及び警察は、虐待を把握していながら救えなかった事実を重く受け止め、教訓にしなければなりません。

今国会では、児童虐待防止対策の強化のため児童福祉法等改正案が成立しました。これを踏まえ、下記の事項について具体的な取り組みを早急に求めます。

- 1 体罰によらないしつけ、子育てが進められるよう普及啓発活動を徹底すること
- 2 虐待防止体制強化のため、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー、警察OBなどの専門家配置のための財政的支援を行うこと
- 3 虐待再発防止のため、転居後の指導、助言及び必要な支援が切れ目なく行われるよう、全国統一の情報共有システムを構築すること
- 4 行政、教育委員会、学校、警察、児童相談所など関係機関の連携が強化されるよう、適切な支援を行っていくこと
- 5 虐待は繰り返されるうちにエスカレートするケースが多いことから、深刻な虐待を防ぐための医学的、心理学的知見に基づいた保護者への再発防止プログラムを実施するための支援を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、厚生労働大臣、文部科学大臣、法務大臣、国家公安委員会委員長

2. 難聴者の補聴器購入に対する助成を求める意見書

聴覚に障害のある方にとって、補聴器はコミュニケーションの手段として、日常生活を営む上で非常に重要であり欠くことのできないものです。「障害者総合支援法」に基づき、聴覚障害者は医師の意見書に基づいて補装具費の支給を受けることができますが、医師の指定する補装具の購入基準区分の価格と、対象者が購入する補聴器の金額には大きな差異があり、差額を自費で負担し、購入する方も少なくありません。

聴覚に障害のある方の生活の質の向上のために、必要な機能を備えた補聴器を提供できるよう、聴覚障害者のための適切な補装具の購入基準の価格の引き上げを要望します。

また、認知症高齢者の増加への対応が大きな課題となる中、加齢に伴う難聴が認知症へのリスクとなることが指摘されています。認知症対策を重点に掲げる国として、認知症予防への対応を充実し、高齢者が地域で生き生きと生活することができるよう、加齢性難聴の高齢者への補聴器購入補助を実施することを要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。
(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、財務大臣

■ インターネットで本会議を視聴できます

千代田区議会ＨＰの「インターネット中継」で本会議の「生中継」及び「録画中継」が視聴可能です。録画中継では日程や、議員の名前ごとに選択可能となっています。下の2次元コードや区議会ＨＰから、ご視聴下さい。



■ ちよだ区議会だよりをスマホで！

各自治体の広報紙やニュースが閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で「ちよだ区議会だより」を配信しています。スマートフォンやタブレット等で、いつでも手軽にちよだ区議会だよりを読めます！ぜひ、下の2次元コードからダウンロードして下さい。



千代田の坂めぐり 男坂(駿河台)



男坂の案内板より「この坂を男坂といいます。駿河台二丁目十一番地の端から猿楽町に下る石段の坂「女坂」に対して名付けられたものです。この坂のできたのも比較的新しく、大正十三年(1924)八月政府による区画整理委員会の議決により作られたものです。男坂は同一場所、あるいは平行してある坂の急な坂を、女坂は緩やかな坂というように区別されて名付けられています。」

委員会で取り扱った請願・陳情（平成31年3月25日～令和元年7月25日）

※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願・陳情名（受付順に掲載）	送付委員会	審査状況 （令和元年7月25日現在）
辺野古新基地工事の即時中止と「日米地位協定」見直しを求める請願書	企画総務委員会	継続審査
（仮称）平河町ちとせ保育園の開園に伴う対策を求める陳情	地域文教委員会	審査終了
道路の境界表示を行った根拠、他の説明について	企画総務委員会	審査終了
千代田区都市計画マスタープラン改定を住民参加型で進めることを求める陳情	企画総務委員会	継続審査
緊急通報システムの設置について	保健福祉委員会	審査終了

令和元年第2回定例区議会 会期日程〈会期:6/12～7/1までの20日間〉

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
6/12	議会運営委員会	6/24	災害時要配慮者等対策特別委員会
	本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）		文化財保存・活用特別委員会
13	議会運営委員会	25	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
19	議会運営委員会		景観・まちづくり特別委員会
	本会議（代表質問・一般質問）	26	議会運営委員会
20	議会運営委員会	27	企画総務委員会
	本会議（一般質問・議案の付託等）		地域文教委員会
21	企画総務委員会		保健福祉委員会
	地域文教委員会	28	議会運営委員会
	保健福祉委員会	7/ 1	議会運営委員会
			本会議（議案の議決等）

4月～6月の主な活動

月／日	日 程	月／日	日 程
4/16	政務活動費交付額等審査会	5/28	災害時要配慮者等対策特別委員会
5/21	〈令和元年第1回千代田区議会臨時会告示日〉		文化財保存・活用特別委員会
28	令和元年第1回千代田区議会臨時会	6/ 3	企画総務委員会
	議会運営委員会		保健福祉委員会
	企画総務委員会		地域文教委員会
	地域文教委員会	5	〈令和元年第2回千代田区議会定例会告示日〉
	保健福祉委員会		議会運営委員会
	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会	11	議会運営委員会
	景観・まちづくり特別委員会		

■ 公式Twitterで区議会の最新情報を！



4月1日から千代田区議会公式ツイッターを開設し、区議会の情報や、HPの更新情報等をツイートしています。ぜひフォローをお願いします。

アカウント名:Chiyoda_Kugikai
（千代田区議会）

下の2次元コードを読み取るか、Twitterで「千代田区議会」と検索してください。



議案の審議結果等（令和元年第2回定例区議会）															可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択 ○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥																	
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日
							小 野 な り こ 都 フ ア	岩 佐 り よ う 子 立 憲	長 谷 川 み え こ 紡 ぐ 会	小 枝 す み 子 至 誠 会	秋 谷 こ う き 立 民	岩 田 か ず ひ と 民	小 林 た か や 自 民	う が い 友 義 自 民	西 岡 め ぐ み 自 民	飯 島 和 子 共 産	牛 尾 こ う じ ろう 共 産	木 村 正 明 共 産	池 田 と も の り 自 民	山 田 丈 夫 一 自 民	永 田 壮 一 自 民	内 田 直 之 自 民	た か ざ わ 秀 行 自 民	は や お 恭 一 自 民	米 田 か ず や 公 明	大 串 ひ ろ や す 公 明	林 則 行 自 民	嶋 崎 秀 彦 自 民	河 合 良 郎 自 民	桜 井 た だ し 自 民	小 林 や す お 自 民	
議 案 名 等																																
委 員 会 提出議案	児童虐待防止対策の強化を求める意見書	24	23	23	0	可	○	○	○	欠	○	○	議 長 は 採 決 に 加 わ り ま せ ん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1		
	難聴者の補聴器購入に対する助成を求める意見書	24	23	23	0	可	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
区 長 提出議案	千代田区教育委員会委員の任命の同意について	23	22	22	0	可	○	○	○	欠	○	欠		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	特別区道千第262号(大神宮通り)電線類地中化事業の施行に伴う引込管路工事等委託協定の締結について	24	23	23	0	可	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	災害対策用備蓄物資(水)の購入について	24	23	23	0	可	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	令和元年度千代田区一般会計補正予算第1号	24	23	20	3	可	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	千代田区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	千代田区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	24	23	20	3	可	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例	24	23	20	3	可	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	千代田区立こども園条例の一部を改正する条例	24	23	20	3	可	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	千代田区立幼稚園使用条例の一部を改正する条例	24	23	20	3	可	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1	
千代田区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1	
千代田区立障害者福祉センターの指定管理者の指定について	24	23	23	0	可	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1	
報 告	平成30年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて																										6/20					
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										6/20					
	(仮称)外神田一丁目公共施設新築工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										6/20					
	(仮称)外神田一丁目公共施設新築電気設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										6/20					
	(仮称)外神田一丁目公共施設新築給排水・空調設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										6/20					
東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者について(指名推選)		候補者 内田 直之議員																									6/12					
千代田区選挙管理委員及び同補充員選挙（指名推選）※		選挙管理委員 石井 利之・川俣 光照・八尾 規子・山田 永秀(五十音順・敬称略)																									7/1					
		選挙管理委員補充員 作道 泰明・田口 一幸・寺澤 文子・池田 昭(補充順・敬称略)																									7/1					

※小枝すみ子議員、岩田かずひと議員欠席

- ◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名
◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民)／日本共産党区議団(共産)／公明党議員団(公明)／千代田を紡ぐ会(紡ぐ会)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立民)／立憲政策フォーラム(立憲)／都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ)／千代田至誠会(至誠会)

■ 区議会だより編集委員会の構成



(写真左から) 池田 とものり(自民)／米田 かずや(公明)／長谷川 みえこ(紡ぐ会)／
西岡 めぐみ(自民)／副委員長・河合 良郎(自民)／委員長・桜井 ただし(自民)／
岩佐 りょう子(立憲)／牛尾 こうじろう(共産)／小野 なりこ(都ファ)／ 山田 丈夫
(自民)／ うがい 友義(自民)



アプリケーションにて「ちよだ区議会だより」の配信を行っています。詳しくは区議会ホームページをご確認ください。